

2024年5月23日

FW11.24~



# Trimble GFX-750

## 可変施肥マップ読み込み・設定方法

# 可変施肥の方法

## ■ 必要なライセンス

項目	品番	品名	備考
1	96553-07	マルチディスプレイ, 農作業機 : プレスリクプション	マップ可変施肥を行う際に必要なライセンス。



マップ可変施肥を行う場合、ISOBUS作業機との連動が必要。  
以下のライセンスをGFXで解除する必要がある。

項目	品番	品名	備考
1	96553-10	マルチディスプレイ, 農作業機 : ISOBUS Task Controller	ISOBUS作業機を連動・制御する際に必要なライセンス。
2	96553-12	ISOBUS,ユニバーサルターミナル(UT)	ディスプレイにISOBUS UT機能を有効化するライセンス。

# 可変施肥の方法

## ■ 必要なデータ

「ISO.XML」または「シェープ（SHP）」どちらかの形式で、データを事前に用意する必要があります。

※GFXにデータを読み込んだ後の「実行画面で設定」以降はどちらのデータ使用した場合でも、共通の手順になります。

### 【ISO.XMLデータを利用する場合】

- ・GFXに読み込む際にコンバート作業が必要です。
- ・可変施肥マップ・境界線データ・資材データをセットで読み込むことができます。

### 【シェープ（SHP）データを利用する場合】

- ・境界線データはGFXで作成したものを利用します。
- ・可変施肥マップは、SHPファイルのセット(.SHP .SHX .DBF等)がそろっている必要があります。

# 可変施肥マップの読み込み方法

## 【ISO.XMLデータを利用する場合】

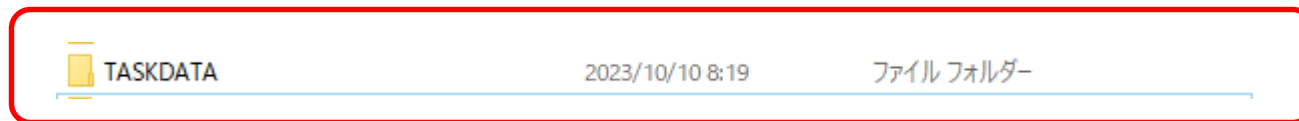
- 可変施肥作成可能サイト・アプリ・ソフトから「ISO.XML」形式でデータを出力する。

※出力データを選択できる場合は、「資材」「圃場」「可変施肥MAP(プレスクリプション)」データを選択し、出力する。

- 出力されたデータをUSBメモリに保存する。

※データは「TASKDATA」フォルダの中に入った状態で保存されているので、**フォルダごと**USBメモリに入れる。

(フォルダの中にはTASKDATA.XMLと複数の〇〇.binデータが入っています)



## 可変施肥マップの読み込み方法

### 【シェープ（SHP）データを利用する場合】

- 可変施肥作成可能サイト・アプリ・ソフトから、シェープ形式を選択し、可変施肥MAP(プレスクリプション)データを出力する。
- 出力されたデータをUSBメモリに保存する。

※データは「AgData」の中の「Prescriptions」フォルダの中に入った状態で保存し、フォルダごとUSBメモリに入れる。

※「prescriptions」フォルダの中にはSHPファイルのセット(.SHP .SHX .DBF等)がそろった状態で入っている必要があります。

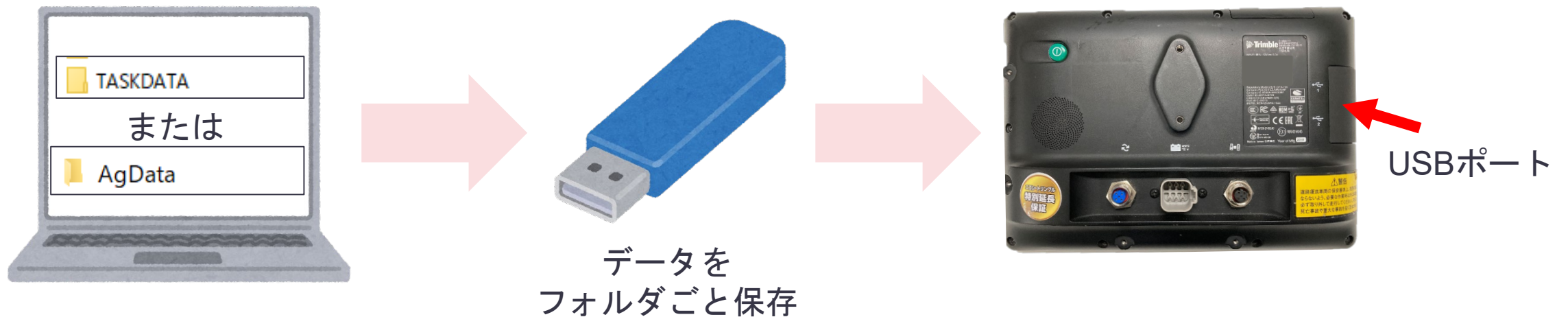
USBドライブ (F:) > AgData > Prescriptions

名前

- 20240507-散布（固体）-A圃場.dbf
- 20220507-散布（固体）-A圃場.prj
- 20220507-散布（固体）-A圃場.shp
- 20220507-散布（固体）-A圃場.shx

# 可変施肥マップの読み込み方法

- USBメモリをGFXに接続する



# 可変施肥マップの読み込み方法

- 可変施肥マップを読み込む



「データ転送」をタップ



# 可変施肥マップの読み込み方法

- 可変施肥マップを読み込む  
(ISO.XMLデータの場合)



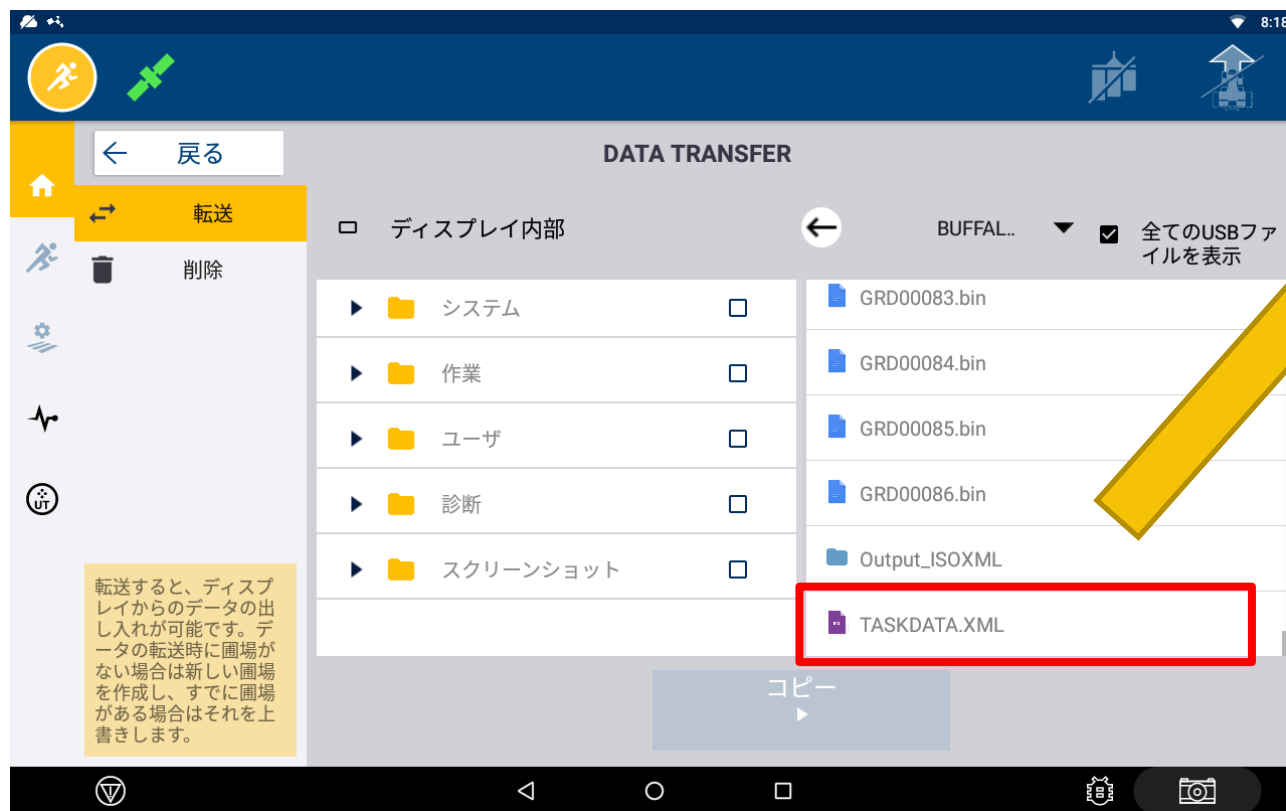
「全てのUSBファイルを表示」  
に☑を入れる

「TASKDATA」フォルダをタップ。

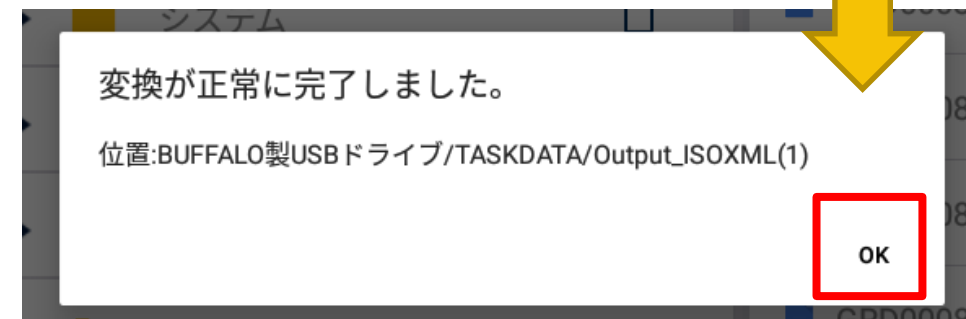
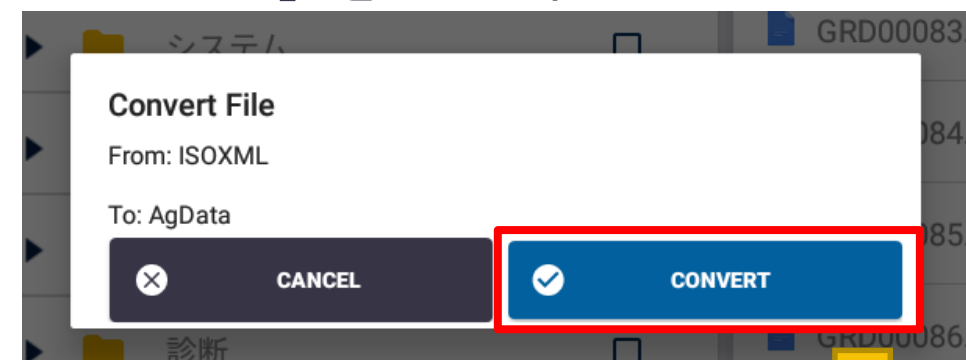


# 可変施肥マップの読み込み方法

- 可変施肥マップを読み込む  
(ISO.XMLデータの場合)



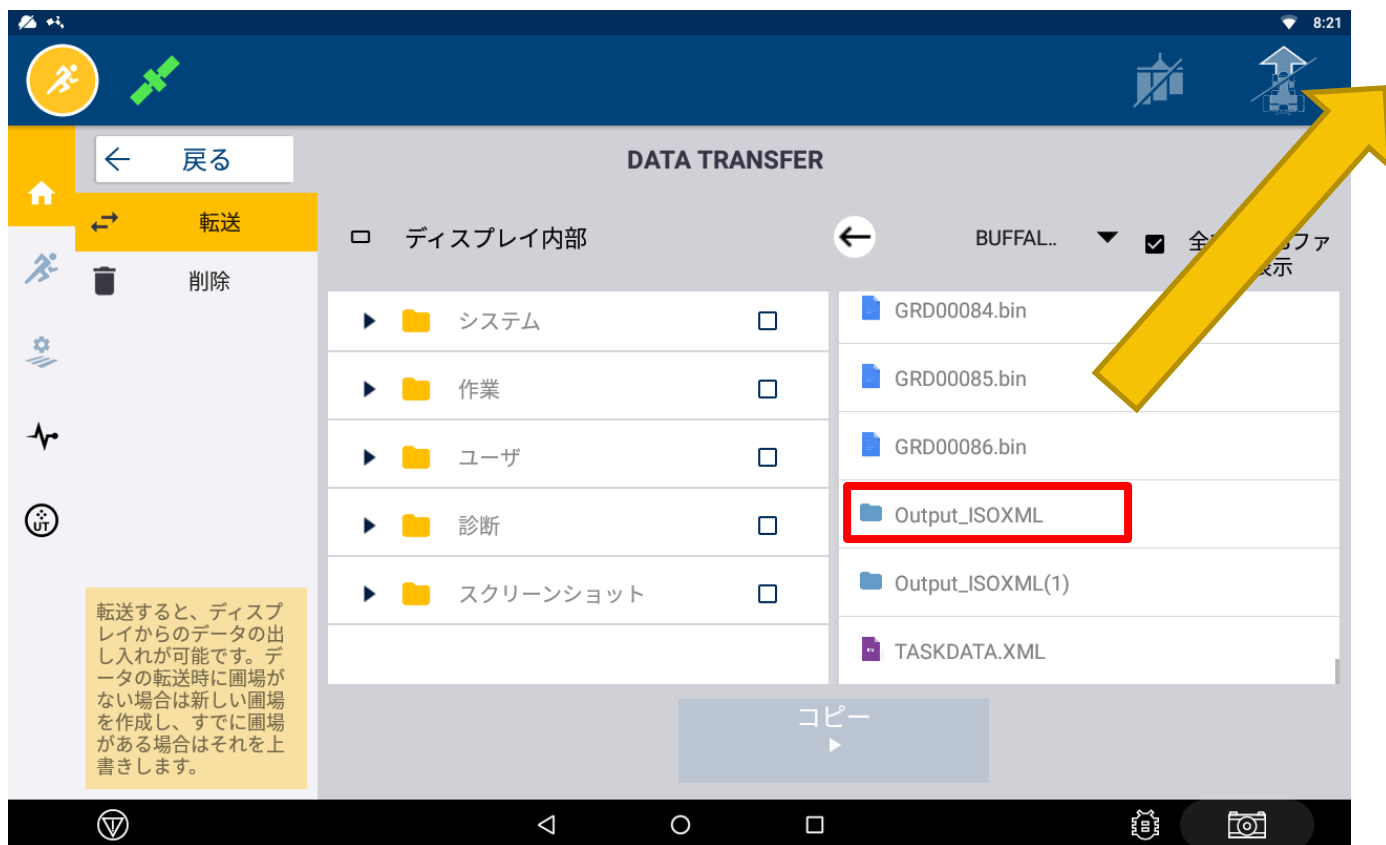
「TASKDATA」フォルダ内の  
「TASKDATA.XML」をタップ。  
以下のメッセージが表示されるので、  
「CONVERT」をタップ。



変換完了後「OK」をタップ。

# 可変施肥マップの読み込み方法

- 可変施肥マップを読み込む  
(ISO.XMLデータの場合)

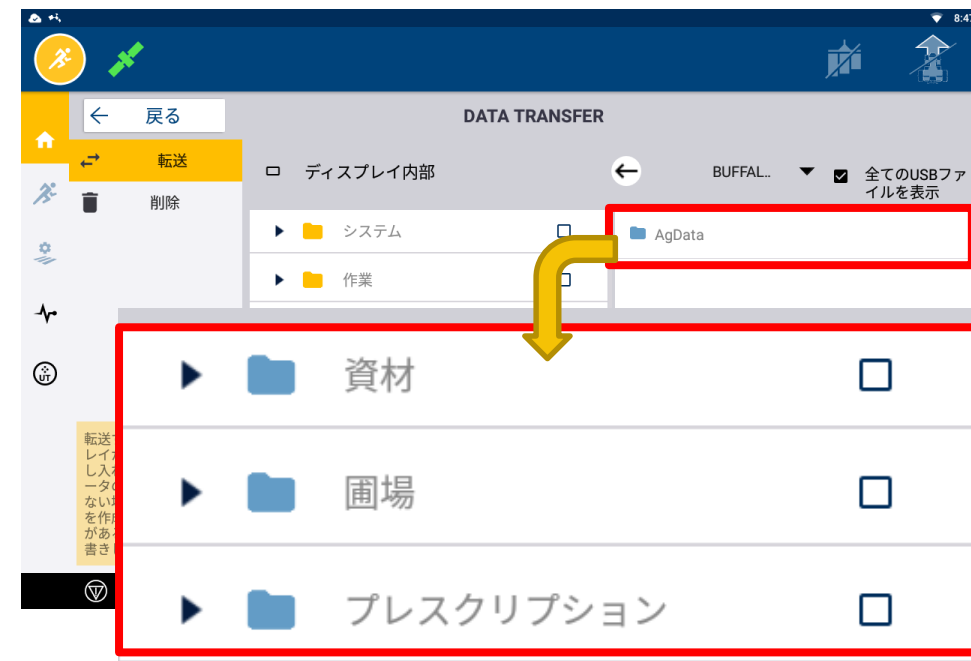


変換が正常に終了すると

「Output\_ISOXML」フォルダがUSB内に作成される。

「Output\_ISOXML」フォルダを開くと、「AgData」が出現。

可変施肥に必要な項目があることを確認。



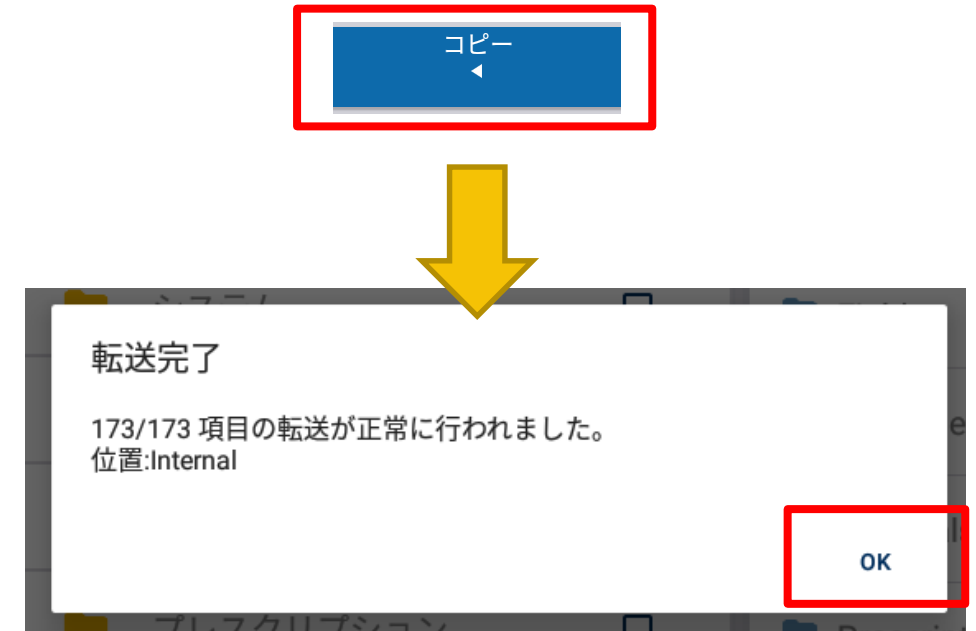
# 可変施肥マップの読み込み方法

- 可変施肥マップを読み込む  
(ISO.XMLデータの場合)



可変施肥MAPに必要な「プレスクリプション」に☑を入れコピーをタップ。

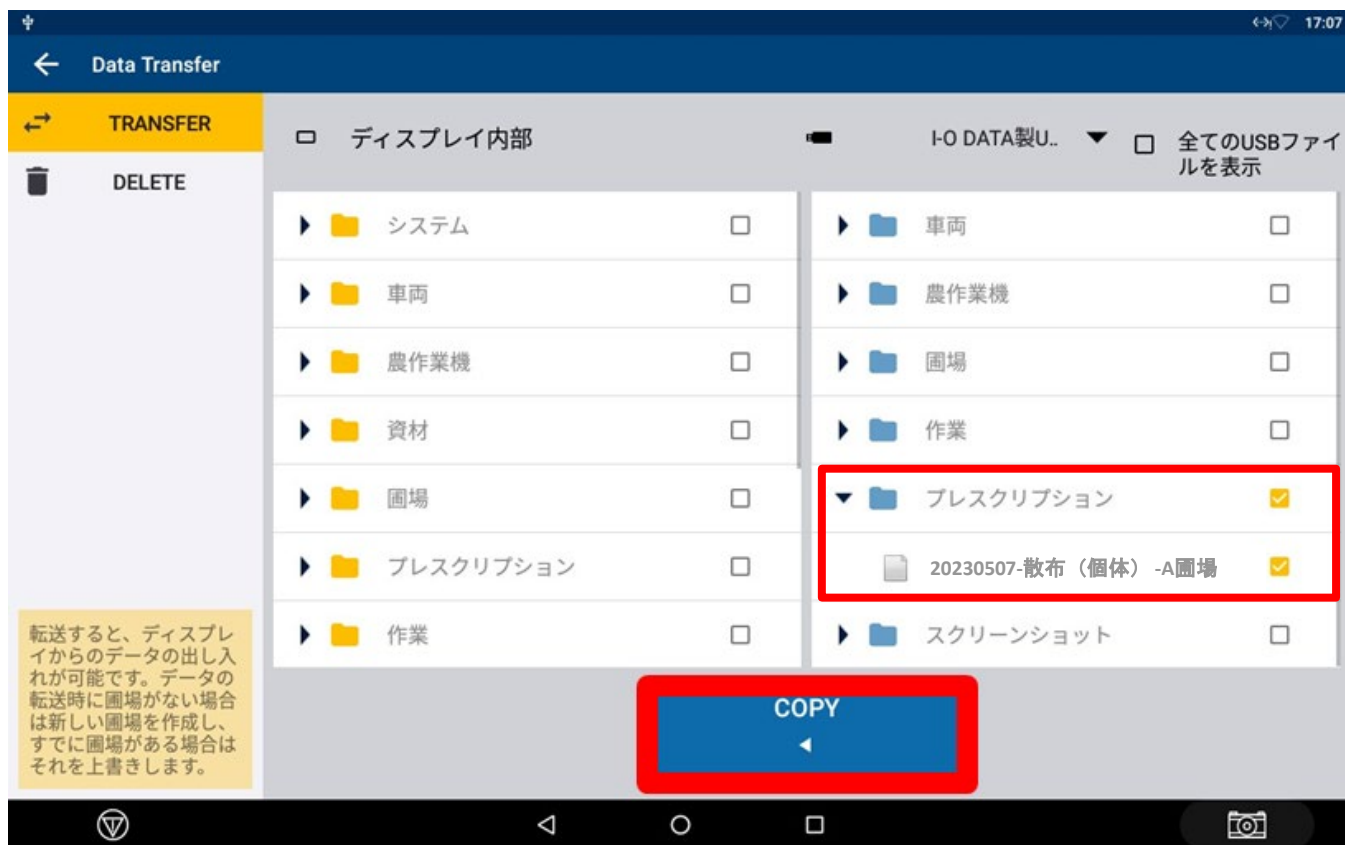
※ ISO.XMLの場合は、「圃場」「資材」も同時にコピーできます。



転送完了後「OK」をタップ。

# 可変施肥マップの読み込み方法

- 可変施肥マップを読み込む  
(シェープデータの場合)



「プレスクリプション」が表示されない場合は、フォルダが無いか、フォルダ名が間違っている可能性があります。

※データは「AgData」の中の「Prescriptions」フォルダの中に入った状態で保存し、フォルダごとUSBメモリに入れる必要があります。

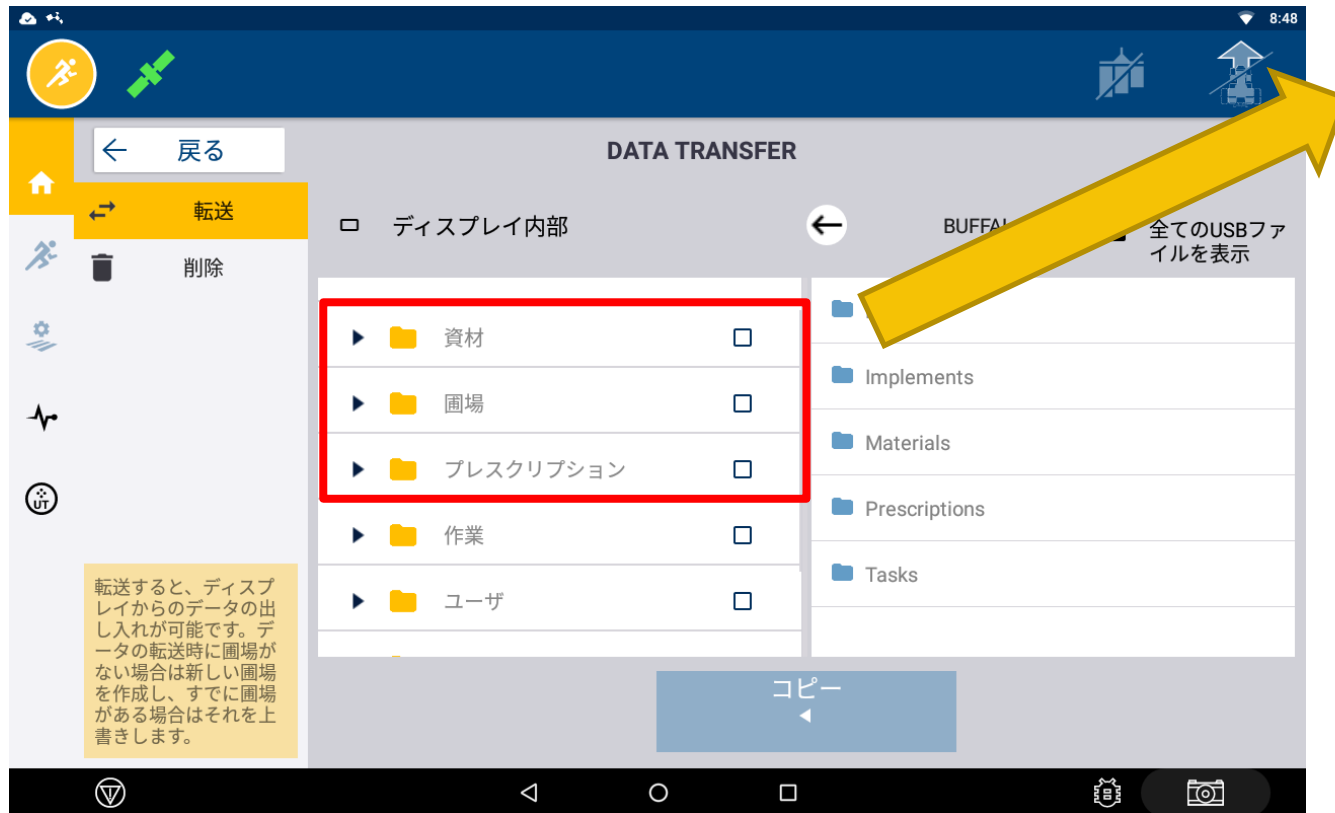
USBドライブ (F:) > AgData > Prescriptions

名前

- 20240507-散布 (固体) -A圃場.dbf
- 20220507-散布 (固体) -A圃場.prj
- 20220507-散布 (固体) -A圃場.shp
- 20220507-散布 (固体) -A圃場.shx

# 可変施肥マップの読み込み方法

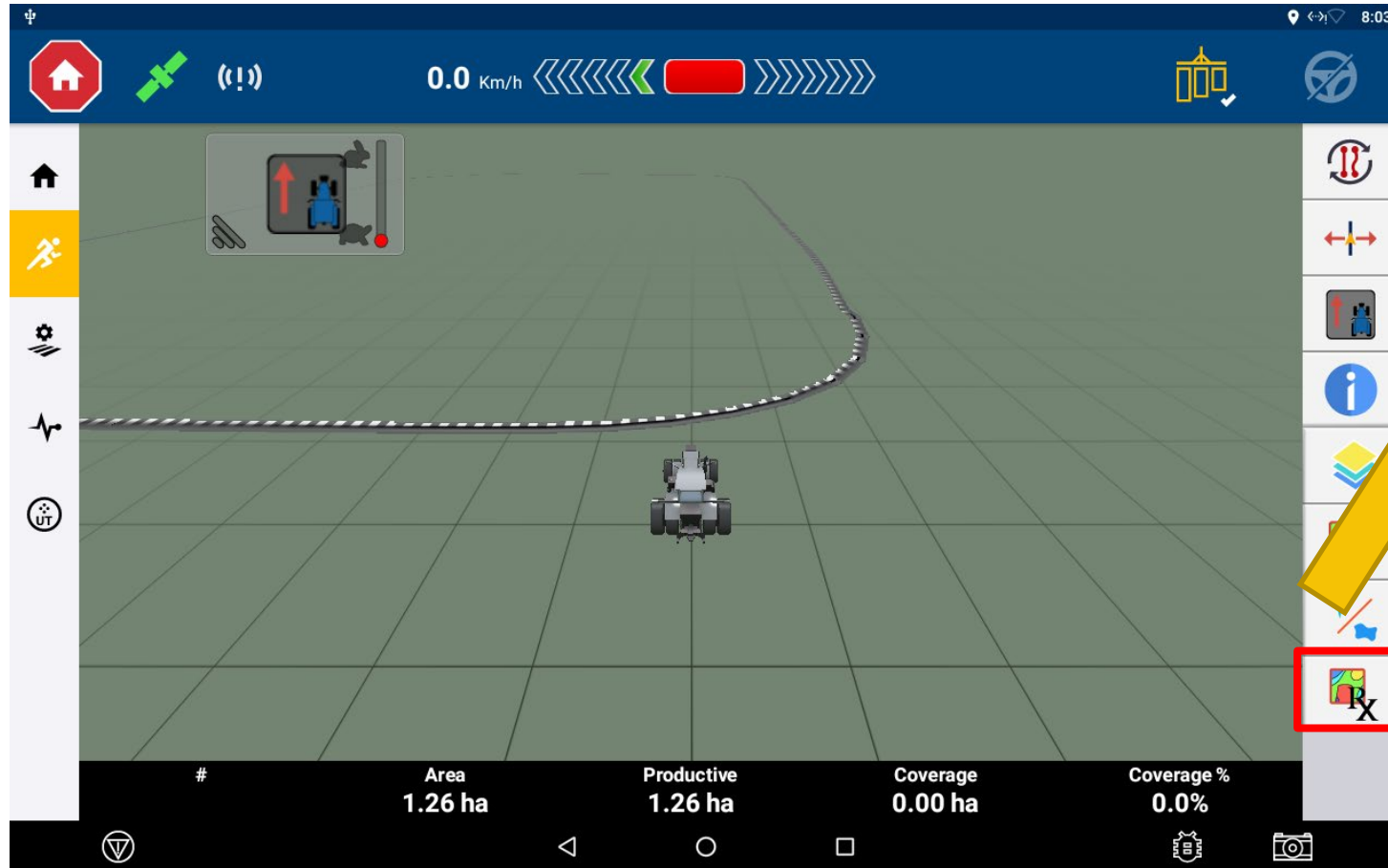
- 可変施肥マップを読み込む



転送したデータがGFXに入ったことを確認し、終了。

# 可変施肥マップの読み込み方法

- 実行画面で設定



をクリック。

※注意

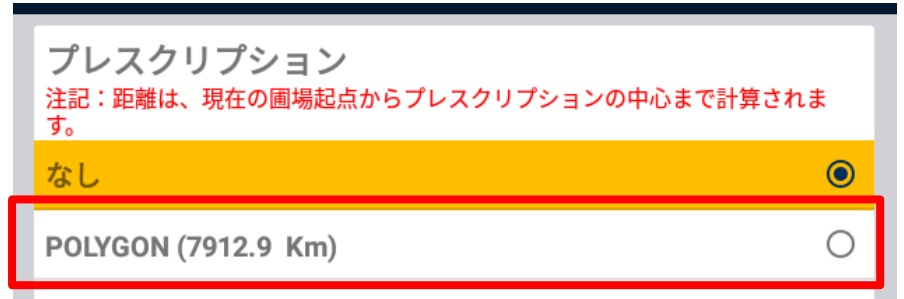
可変施肥マップを読み込む前に  
ISOBUS作業機設定を完了させる。

# 可変施肥マップの読み込み方法

- 実行画面で設定



「プレスクリプション」をタップ



読み込んだデータを選択



# 可変施肥マップの読み込み方法

## ■ 実行画面で設定



各詳細目次を設定する

- ・ プレスクリプション
- ・ レートカラム
- ・ リードタイム
- ・ オフプレスクリプション動作
- ・ 施肥の単位

# 可変施肥マップの読み込み方法

## ■ プレスクリプション

CHANNEL 1  
エンバク, 粒状種子

プレスクリプション  
**POLYGON**

レートカラム  
**WERT**

リードタイム  
**0.00 秒**

オフプレスクリプション動作  
**最後に使用したレート**

施用の単位

✕ 取り消し      ✓ 保存

■ 可変施肥マップ (.shp) を指定

※ プレスクリプションマップは  
USBのAgData/Prescriptionsにコピー  
してからPIQにインポート。

# 可変施肥マップの読み込み方法

## ■ レートカラム

CHANNEL 1  
エンバク, 粒状種子

プレスクリプション  
**POLYGON**

レートカラム  
**WERT**

リードタイム  
**0.00 秒**

オフプレスクリプション動作  
最後に使用したレート

施田の単位

× 取り消し

✓ 保存

- 2つの施用レートをあらかじめ設定しておくことができ、圃場で実行画面から直ぐにこの2つの施用レートを設定することができる。

※実行画面のセクションにて、自動散布と手動散布が選択ができる、自動の場合はプレスクリプション（可変施肥マップ）上で作業しておく必要がある。

# 可変施肥マップの読み込み方法

## ■ リードタイム

CHANNEL 1  
テスト, 粒状の種子

リードタイム  
**0.00 秒**

レートカラムの乗数  
**1.00**

オフプレスクリプション動作  
**最後に使用したレート**

施用の単位  
**kg/ha**

× 取り消し

✓ 保存

- ブームアプリケーション（スプレイヤーなどのポンプ）が動作して、実際に圃場にて指定したレートで散布されるまでの遅延時間。秒単位で入力可能。

# 可変施肥マップの読み込み方法

## ■ レートカラムの乗数

CHANNEL 1  
テスト, 粒状の種子

リードタイム  
0.00 秒

レートカラムの乗数  
1.00

オフスクリーン動作  
最後に使用したレート

施用の単位  
kg/ha

× 取り消し

✓ 保存

■可変施肥マップ内で定義されている散布量を  
をこの項目で入れた数値分掛け算する。

例) 例えば100kg/haと散布量を定義しており  
この項目に1.1と入力すると  
100kg/ha×1.1=110kg/haとなる。

元々定義していた散布量を増減したい場合に  
設定を行う。

初期設定は「1.00」

# 可変施肥マップの読み込み方法

## ■ オフプレスクリプション動作

CHANNEL 1  
テスト, 粒状の種子

リードタイム  
0.00 秒

レートカラムの乗数  
1.00

オフプレスクリプション動作  
最後に使用したレート

施用の単位  
kg/ha

× 取り消し

✓ 保存

- プレスクリプションマップ（可変施肥マップ）の領域外に出た際の動作を定義。  
0にすることもありますが、必要に応じて動作を定義することがある。

# 可変施肥マップの読み込み方法

## ■ 施用の単位



CHANNEL 1  
テスト, 粒状の種子

リードタイム  
**0.00 秒**

レートカラムの乗数  
**1.00**

オフプレスクリプション動作  
最後に使用したレート

施用の単位  
**kg/ha**

× 取り消し

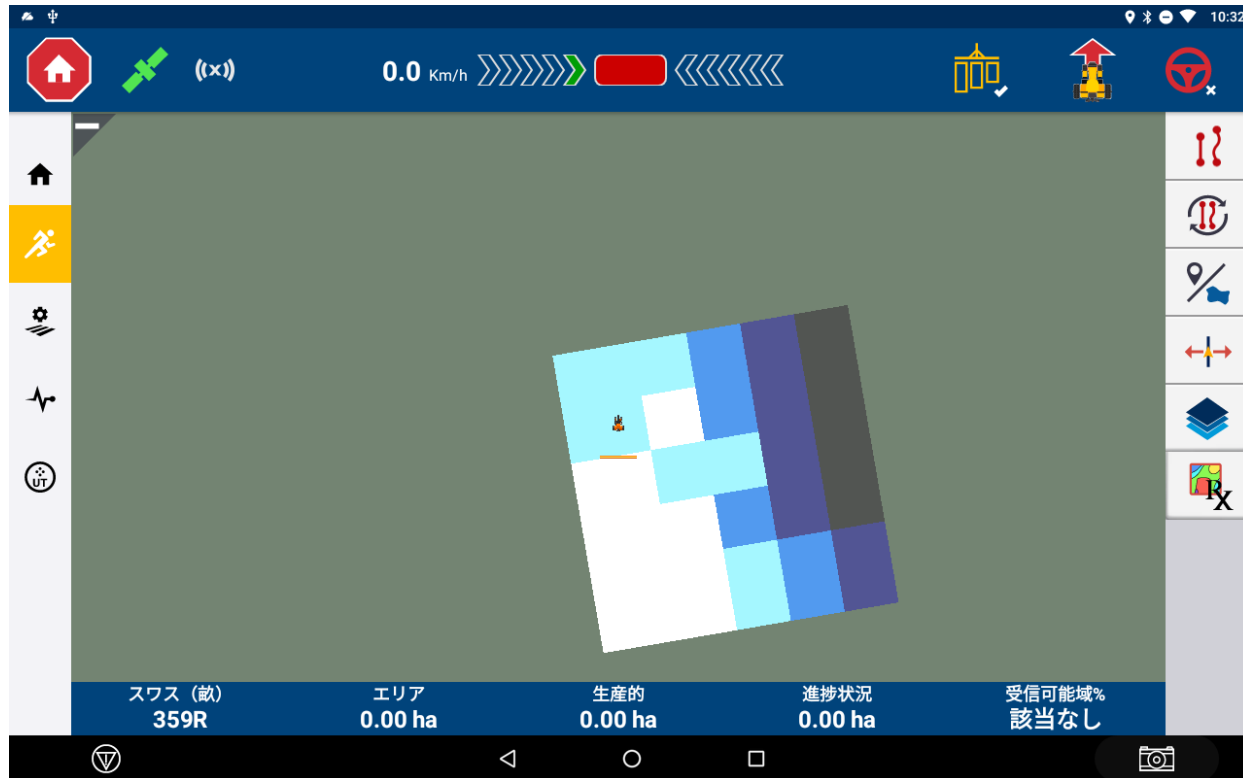
✓ 保存

## ■ 散布量の単位を定義



# 可変施肥マップの読み込み方法

## ■ 可変施肥マップの読み込み



■読み込みが完了すれば図の様に可変施肥マップがGFX750へ反映される。

### ※注意

- ・境界線は圃場データを読み込むことで表示されます。
- ・一つの圃場データに複数の境界線がある場合は「AB線切替ボタンの長押し」か「圃場マネージャー」から、使用する境界線を有効化する必要があります。

# 可変施肥マップの読み込み方法

## 可変施肥マップ利用時の設定注意点



色塗り機能をONにしないと  
作業機のシャッターは開かない



をタップすることで散布量が  
可変施肥マップで定義した数量へ  
切り替わる。  
可変施肥マップを反映する場合は  
必ずタップ。

# 可変施肥マップの読み込み方法

## 可変施肥マップ利用参考図



マップの色に応じて目標散布量が切り替わっている様子が見られる。